



国家の指針

令和6年1月30日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

為政は唯一人々に施すことである。故に国家は人なりというのである。

これらは技術や学術の進歩の有効な活用をもって、未来という新しい自己を実現できるのである。

世界のすべての諸国との友好は、可能性や未来の共有であり、対等な関係は、その歪さでない正常な世界への参加を得るのである。

為政の国民への説明責任は、新しい未来への国民との確固な協力を与えるものである。

為政の国民への責任は、未来という現実において証明されるのである。

これら正しい国家運営は、優れた未来への参加を国民と共有するものである。

これら新しい自己は、新しい世界との関係を提案できるのである。

為政は、国家を決定する。故にすべての責任が付与されるのである。

これら正しい自己は国民の模範であり、国民はそれに従うのである。

これらは宰相が、国家を行う所以である。

すべての歩みは必ず未来に至るのである。

これが常に前に進むことは大切さである。

未来は自己に与えられるものであり、他人が有するものでないものである。

これが正しい政治行動の必要性であり、国民の未来を有するのである。